

友好の輪

日野町国際親善協会 広報
Hino International Goodwill Association

公式SNSでも情報発信しています

日野町国際親善協会では、活動内容や交流イベントの情報をより身近にお届けするため、公式 SNS にて情報発信をしています。

ぜひフォローいただき、最新の情報をチェックしてください。



Instagram



Facebook

～国際親善協会は今、こんなことをしています！～

日野町には、ブラジルやベトナムをはじめ、フィリピン、中国、インドネシア、ミャンマー、スリランカ、タイ、ネパールなど26の国から1,000人以上の外国人住民が暮らしておられます。同じ地域に暮らす人たちが顔の見える関係を築き、日本人・外国人問わず互いに支えあいができる地域づくりのため、「にほんご交流サロン」を開催しました。

「にほんご交流サロン」では、外国料理や日本文化などさまざまなテーマをもとに、外国人と地域の方が交流し様々な体験をいただきました。体験を共にすることで、自然と会話が生まれ、笑顔でコミュニケーションをとる場面が多く見られ、参加者からは「楽しかった」「また参加したい」という声も聞かれ、地域の中でのつながりの芽生えを感じられる時間となりました。

今後もこのような交流の機会を設けてまいります。ぜひご参加ください。



今年度も、会員の皆さまのご協力のもと、さまざまな活動を行うことができました。

また、これまでの事業に加え、「多文化共生」をテーマとした取り組みにも挑戦し、地域の中での交流の輪を広げることができた一年でした。

来年度は、これまでの活動を大切にしながら、より多くの方が参加しやすい企画や、地域とのつながりを深める取り組みを進めていく予定です。

今後とも、どうぞよろしくお願いいたします。

令和8年度通常総会および記念講演会のお知らせ

- ・日時：5月30日（土） 10時～12時（予定）
- ・場所：日野町林業センターホール
- ・内容：総会（令和7年度事業報告・決算報告、令和8年度事業計画・予算案の審議他）
講演テーマ：未定
講師：森 雄二郎 氏（京都文教大学総合社会学部事務室社会連携コーディネーター）

ぜひご参加くださいますようお願いいたします。

～この1年をふりかえって～

令和7年度 総会

5月31日（土）、日野町林業センターで令和7年度の総会を開催し、令和6年度の事業報告・決算報告並びに令和7年度の事業計画・予算案が審議、承認されました。

終了後、記念講演として医療法人社団昂会湖東記念病院より、理事長代行脳神経外科主任部長の井上卓郎氏をお招きし、「医療現場における外国人との関わりと課題」と題して講演をいただきました。

講演では、外国人が増加している中、言語や文化、宗教の違いからコミュニケーションを取らないのではなく、まず伝えようとする意識こそが互いの信頼関係を築く第一歩であるとして講演いただき、外国人とのコミュニケーションにおいて大切なことを学ばせていただきました。



講演会のようす

滋賀スタディツアー交流受入事業

6月14日（土）、一般財団法人自治体国際化協会主催の「滋賀スタディツアー交流受入事業」において、韓国、中国、ペルー、インドネシアからの公務員研修員6名に対し、昼食づくり体験や染物体験、うちわ作りの事業への協力を行いました。

研修員は、町内3軒のご家庭で昼食をともに調理され、日本の家庭料理を楽しまれた後、染物、うちわ作りを体験され、お別れの際には涙ぐまれている場面もあり、言葉の壁を越えて友好親善を築かれ、有意義な時間となりました。



入村式のようす

氏郷まつり 2025 姉妹都市等交流物産展

9月13日（土）、日野町役場で開催された氏郷まつり 2025において、「姉妹都市等交流物産展」を行いました。日野町と姉妹都市提携を結んでいるブラジル・韓国等の物産を販売するとともに、当協会の啓発として実施している事業の写真やパネル等を展示しました。

目新しい外国の物産に引き寄せられる方も多く大盛況でした。



物産展のようす

氏郷まつり 2025 外国人のゆかた体験

氏郷まつり 2025の「江州音頭」に日野町に在住在勤の外国人の方とともに参加しました。9名の外国人の方が参加され、様々な色柄のゆかたを着て江州音頭を楽しまれました。結果は見事優勝！

参加者からは、「またゆかたを着て踊りたい」「次も参加する」等の声もいただき、日本の祭りと文化を楽しく体験されました。一緒に踊った当協会会員との交流も図れ、日野町に安心して暮らしていただくための多文化共生のきっかけづくりとなりました。



ゆかた体験のようす

英会話教室

9月18日(木)から10月23日(木)までの毎週木曜日、日野町バイリンガル養成学院の谷大智氏を講師に迎え、英会話教室(全5回)を開催しました。

教室では日本で外国人と出会った時の会話フレーズを中心に授業が進められるとともに、参加者同士で互いに英語でやり取りを行うなど、実践を交えて進められました。

参加者からは、「楽しく勉強できた」「参加者同士の交流ができた」といった意見が多く寄せられました。



英会話教室のようす

やさしい韓国語講座

10月31日(金)から11月28日(金)までの毎週金曜日、西村キョンホ氏を講師に迎え、韓国語講座(全5回)を開催しました。

講座では発音や文字の書き方、日常で使う挨拶や会話フレーズを学ぶとともに、ハングルの文字の成り立ちなどについても学びを深められました。

参加者からは、「より韓国に興味を持つことができた」、「楽しく学べた」といった声も寄せられ、和気あいあいとした講座となりました。



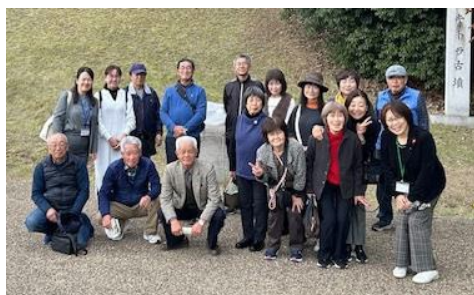
韓国語講座のようす

渡来等の歴史と文化を訪ねる研修会

11月27日(木)、姉妹都市である韓国恩山面との歴史的な背景を学び、今後の交流の継続や友好の輪を広げていくことを目的に「渡来等の歴史と文化を訪ねる研修会」を開催しました。

今回は、奈良県飛鳥村方面にある飛鳥寺や、キトラ古墳壁画体験館「四神の館」等を訪問し、町内外から14名の参加がありました。

参加者からは、「歴史を深く学ぶことができた」「普段見ることがない古墳を見ることができてよかった」といった意見が多く寄せられました。



国営飛鳥歴史公園にて

外国人交流事業「外国の料理を食べてみよう～スリランカ編～」

12月21日(日)、日野まちかど感応館にて開催された「日野の味覚市」において、スリランカ料理の「ロティ・ルヌミリス」とセイロンティーを販売しました。

当日は雨でしたが、珍しい食べ物に興味のある方がたくさん来られ、焼きたてのロティ・ルヌミリスをその場で食べて「おいしい!」と異文化を楽しんでおられました。

また、販売に協力いただいたスリランカ出身の方も、お客様や当協会の会員の皆様と交流され、楽しく過ごされました。



日野の「味覚市」のようす



←ロティ・ルヌミリス

多文化共生講演会

1月19日(月)、わたむきホール虹で上原ジャンカル口氏を講師に迎え、「共に生き・共に守る ～外国人住民と築く地域防災～」と題し開催しました。

講演では、災害時に外国人もともに支えあいができるよう、普段から顔の見える関係を築くために地域でできること等についてご講演いただきました。

参加者からは、「小さな交流をコツコツと進めていくことが大切」「やさしい日本語の難しさや大切さについて考える機会となった」といった意見が寄せられました。



講演会のようす

第1回にほんご交流サロン

11月22日(土)

「やさしい日本語」で外国人と交流するコツについて、日本語教師の船見和秀氏より、お話を伺いました。

「ハサミの法則」に基づき、外国人にもわかりやすい日本語にするコツなどを学び、和気あいあいとした雰囲気の中、参加者同士の交流の場にもなりました。

① ハッキリ言う

② 最後まで言う

③ 短く言う

「日本で暮らす外国人の大半の方は簡単な日本語を話されます。普段何気なく使っている言葉をわかりやすい言い方に変えて、日本語で話かけてみませんか。」(講師より)



サロンのようす

第2回にほんご交流サロン

12月21日(日)

2回目となるサロンは、外国人交流事業「外国の料理を食べてみよう〜スリランカ編〜」と日野まちかど感応館で同時開催をしました。

日野の「味覚市」でスリランカ料理の販売に協力いただいたスリランカ出身の方やアメリカ出身の方も参加され、交流を図られました。

また、当日は「日野の味覚市」も同時開催されており、隣接ブースで行われていた餅つきにも参加されました。自分をついた餅を食べながら、各国の料理文化や生活習慣等、互いの文化を知る交流となりました。



サロンのようす

第3回にほんご交流サロン

1月17日(土)

3回目は、お正月ということで「日本のお正月遊びと抹茶体験」をしました。

町内に住むブラジルやペルーにルーツのある子どもたちも参加し、福笑いや百人一首などで遊びながら交流し、終始にぎやかなサロンとなりました。

また、抹茶体験では、日野菜入りの和菓子「菜想い」とお抹茶を楽しめました。

和の文化を通し外国にルーツをもつ人たちとの交流はもちろん、参加者同士が様々なところでつながっていることを実感できる温かい交流の場となりました。



ブラジル、ペルーがルーツの参加者による抹茶体験と福笑い

第4回にほんご交流サロン

2月21日(土)

2月に開催したサロンでは、「バレンタイン」をテーマに、一人ずつスピーチをしました。

アメリカやペルーでは、2月14日には男性が女性に対してお花やプレゼントを贈り、そのあと食事に出かけるなどが一般的とのこと。ブラジルでは6月12日が「恋人の日」でプレゼントを交換したりすることでした。各国によりバレンタインのあり方はずいぶん違い、良い異文化交流となりました。



サロンのようす



令和8年3月 「友好の輪」

発行：日野町国際親善協会（日野町役場企画振興課内）

TEL：0748-52-6550 FAX 0748-52-2043

MAIL：kouhou@town.shiga-hino.lg.jp